

3年間の現場実習のおさえ

2023.4

札幌稲穂高等支援学校 進路指導部

1. 1年現場実習（企業等での体験的な実習）

目的	- 働く体験を通して、生徒個々の能力や実態を把握するとともに、今後の進路指導や生活指導に役立てる。 - 職業生活に対する関心を深めるとともに、社会生活参加の意欲を持つ。 - 仕事への初歩的な心構えを学び、働くことの大切さや厳しさに気づく。
実習先	・学校近郊の企業等
形態	・複数名の生徒グループを学校から引率して実習を行う。
日程	・9月上旬、土日を除く7日間
実習先に関する連絡、事前訪問	1学期末をめぐりに実習先を決定し、日課、作業内容、服装、持ち物等、家庭で用意する物を文書連絡する。 - 事前訪問は学校(引率担当)が対応する。

2. 2年前期現場実習（企業または福祉事業所等での体験的な実習）

目的	- 企業、福祉事業所等での幅広い体験をとおり、これまでの学習の成果を確かめるとともに個々の課題を明らかにし今後の進路指導や生活指導に役立てる。 - 職業生活に必要な態度や心構えについての理解を深め、自己の進路について関心を高める。
実習先	・企業または福祉事業所等
形態	- 自宅から単独通勤、通所する。 ①福祉事業所等での単独実習 進路先の一つとして福祉事業所等を希望する生徒が対象。 ②企業等での単独実習 進路先として企業を希望し、1年現場実習や日頃の学習の状況（対人関係、交通機関の利用等）を踏まえ、一人で企業実習が可能と思われる生徒が対象。
日程	・5月下旬、7日間
実習先に関する連絡、事前訪問	- 前年度3月末をめぐりに実習先を決定。 - 事前訪問は保護者、学校(進路担当)が対応し、日課、作業内容、服装、持ち物等、家庭で用意する物を確認する。

3. 2年後期現場実習（企業または福祉事業所等での体験的な実習）

目的	- 企業、福祉事業所等での幅広い体験をとおり、これまでの学習の成果を確かめるとともに個々の課題を明らかにし今後の進路指導や生活指導に役立てる。 - 職業生活に必要な態度や心構えについての理解を深め、自己の進路について関心を高める。 - 自己の能力や課題を自覚し、職場に適應して力を発揮することを学び進路に対する意識を高める。
実習先	・企業または福祉事業所等
形態	- 自宅から単独通勤、通所する。 ①福祉事業所等での単独実習 進路先の一つとして福祉事業所等を希望する生徒が対象。 ②企業等での単独実習 進路先として企業を希望し、1年、2年前期現場実習や日頃の学習の状況（対人関係、交通機関の利用等）を踏まえ、一人で企業実習が可能と思われる生徒が対象。
日程	・10月中旬、土日を除く10日間。
実習先に関する連絡、事前訪問	7月下旬をめぐりに実習先を決定。 - 事前訪問は保護者、学校(進路担当)が対応し、日課、作業内容、服装、持ち物等、家庭で用意する物を確認する。

4. 3年現場実習Ⅰ（就職希望者のみ。卒業後の利用を見越した前提実習）

目的	- 卒業後の進路希望先であることを前提とした実習。 - 企業に対しては、生徒の適性等についての理解を求めながら、現場実習Ⅱ及び卒業後の受け入れについて判断していただく。
実習先 形態	- 企業等 企業での単独実習 進路先として企業を希望し、職業相談を行いこれまでの現場実習や日頃の学習の状況（対人関係、交通機関の利用等）を踏まえ、一人で企業実習が可能と思われる生徒が対象。自宅または生活の場から通勤する。
日程	6月中旬、土日を除く10日間。
実習先に関する連絡、 事前訪問	- 前年度3月下旬をめぐり実習先の方向性を確認、4月以降に開拓し決定。 - 単独実習の事前訪問は保護者、学校（進路担当）が対応し、日課、作業内容、服装、持ち物等、家庭で用意する物を文書連絡する。

5. 3年現場実習Ⅱ（企業の雇用や福祉事業所等の利用を見越した前提実習）

目的	- 卒業後の進路希望先であることを前提とした実習。 - 企業に対しては、生徒の適性等についての理解を求めながら、卒業後の受け入れについて判断していただく。 - 福祉事業所、進学先等に対しては、卒業後の利用を見込んだ取り組みを通して、生徒の適性や課題等について把握していただき、卒業後の受け入れについて判断していただく。
実習先 形態	- 企業または福祉事業所、進学希望先等 ①企業等での単独実習 進路先として企業を希望し、現場実習Ⅰで企業での実習を行い、企業から現場実習Ⅱでの実習が可能と判断された生徒が対象。 現場実習Ⅰで実習先での雇用は難しいと判断された生徒で、これまでの現場実習や日頃の学習の状況（対人関係、交通機関の利用等）を踏まえ、一人で企業実習が可能と思われる生徒が対象。自宅または生活の場から通勤する。 ②福祉事業所等での単独実習 進路先として福祉事業所等を希望する生徒が対象。自宅から通所または入所して行う。 ③進学先等での単独実習 進路先として進学を希望する生徒が対象。自宅から通学する。 ④その他の単独実習 進学を希望する生徒が進学先での現場実習ができない場合、体験として企業または福祉事業所等で行う。自宅から通勤・通所する。
日程	8月下旬～9月の4週間のなかで企業、福祉事業所、進学先等と検討して期間を設定する。 ※相手先の状況や要望等により、この期間以外に設定することもある。 ※進路先が確定しない場合は、この期間以外に再実習を設定する。
実習先に関する連絡、 事前訪問	- 前年度3月下旬をめぐり実習先の方向性を確認、4月以降に開拓し決定。 - 単独実習の事前訪問は保護者、学校（進路担当）が対応し、日課、作業内容、服装、持ち物等、家庭で用意する物を確認する。